



「コミュニティユニオン東京」ニュース N0146号 2022年4月22日
170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館 1F
TEL 03-3946-9277 FAX 03-5395-3242 E-mail staff@cutokyo.jp
<http://www.cutokyo.jp> 「こみゅーと」ラテン語「流れを変える」
「こみゅーと」バックナンバーをホームページで読めます

組織の7% 112人拡大目標に 春の運動を成功めざし、学習交流集会開く



3月27日、ラパスホールで、春の学習交流集会を49人の参加で開きました(Zoom参加5人含む)。

7月の大会を 1700人で迎えよう



佐藤義見委員長は、組合員の日頃の活動にお礼を述べ、「来年、CU東京は、組合結成15年を迎えます。CUの活動は、コロナ禍、ますます求められています。CUは春の拡大目標7%決めた。

知恵を出し合ってやり抜きたい。全労連もローカルユニオンどう育てていくのか真剣な議論を提案している。仲間の皆さんとご一緒に頑張っていきたい。7月の大会を1700人で迎えよう」と挨拶しました。最賃調査で東京の労働者も時給1500円～1600円必要との結果だ。この時給を払えばやっていけないとの中小事業者との話し合いが重要です。

労組はこう変えるという ビジョンを見せていく

つづいて中澤秀一准教授（静岡大学）から「私たちの生活から考える最低賃金引き上げの意義」をテーマとした講義を受けました。会場が

らは、「生計費調査を単身者だけでなく家族や高齢者の方にも拡大」では、最賃だけでなく社会保障費のアップなど組み合わせていく発想の転換も必要と発言もありました。「1500円の宣伝で市民は振り向かない。そこをどう説得するのか」では、労組はこう変えるというビジョンを見せていく、どうすれば支持得られるか知恵だして一と激励されました。

CU東京への期待大きい

井澤智東京地評事務局長は、春闘の取り組み、要求の実現たたかい、今春闘は賃金上げの時、組織拡大はその推進の力とのべ、「CU東京への期待大きい」と激励挨拶をしました。



春の運動成功へ連帯と激励をしたい。ロシアのウクライナ侵攻に全世界からの避難、140か国の国連決議もある。闘う労組から平和でなければとの思い、9条改憲の声も高くなる事を警戒しこれを守る事が重要だ。

労働組合の組織率の低下傾向リスクを断ち切っていくCU東京の活動。先進的経験を学びながら、非正規が増加する今日、そこの組織化へ大きな力になっている。地評でも方針を練っているところ、ともに知恵を出し合っ

参加を呼びかける活動を重視



高木書記長が基調報告をしました。賃金の底上げ、最賃1500円めざした運動、ジェンダー平等の活動の前進をさせること、4月から6月の3か月を組織拡大月間として、停滞気味の

状況を打開して、目標を組織の7%、112人やり抜くこと、そのために組合員の参加がカギと、参加を呼びかける活動を重視し、そのため4月の意思統一・準備を提起しました。

パンフレット「ジェンダー平等 ガイドブック」



伊東弘子副委員長がジェンダー平等の活動のスタートとして、パンフレット「ジェンダー平等 ガイドブック」を使い、ポイントを説明し、取り組みと学習を呼びかけました。支部の学習には本部から講師に出かけると推進の決意をのべました。

支部からの特別報告



支部特別報告では、あだち支部は息子の相談に母からの感謝の手紙を紹介され、相談事例が報告されました。ユニオンちよだは職場支部のたたかいと現在の取り組みが報告されました。文京支部はセクハラ事件を許さないと広く訴え闘うとりくみが報告されました。三多摩協議会は高校生も参加した地域の青年に応える学習会の開催などが報告されました。学び交流し確信を深めました。

会議は最後に鈴木明彦副委員長の閉会挨拶、佐藤委員長の団結頑張ろうで閉会しました。

4. 15千代田総行動にて 渋谷支部が社前行動を展開



4月15日の千代田総行動（千代田区春闘共闘主催）で、初めてCU東京の渋谷支部が社前行動を展開しました。

（株）マップ・コミュニケーションズ（渋谷区）は、ハローワークで無期雇用として募集しておきながら、Kさんに対し入社後、有期雇用へと労働条件を変更させました。さらにその後、会社はKさんを雇止めと称し解雇してきました。そのためKさんはCU渋谷に加入し、ユニオンちよだ・文京支部と共闘して団体交渉を行いましたが決裂したため、4月15日社前抗議行動を決行しました。

千代田区労連香取議長の司会のもと、千代田区労協小林議長、渋谷支部海崎委員長、CU東京高木書記長、当該組合員Kさんの訴えがありました。続いて、ユニオンちよだ鈴木真理委員長による要請書読み上げと同時に、要請団が会社に訪問しました。最後ユニオンちよだ小番執行委員のシュプレヒコールで締めました。

この抗議行動には、CU東京本部、文京区労協、地域労組こうとう、あかつき労組、新宿区労連、日赤第一労組、CU渋谷協力組合員などがなどからも駆けつけて頂き、雨の中、約35人の方が参加しました。

千代田総行動でCU東京の他支部案件を取り扱ったことは画期的なことであり、解決に繋がることを期待しています。

（ユニオンちよだ 書記長 鈴木 明彦）

「セクハラ・ワイセツ事件」 厚生労働省で記者会見



3月30日（水）午後2時より東京都・霞ヶ関の「厚生労働省」記者会見室において、個人加盟労働組合のコミュニティユニオン（CU）東京文京支部は「セクハラ・ワイセツ事件」の記者会見を行いました。

記者会見はCU東京文京支部山田三平書記長の司会で進行しました。はじめに益子茂副委員長（文京区労協事務局長）が記者会見の趣旨説明を行いました。その後、原告代理人である東京法律事務所の岸松江弁護士が訴状の趣旨である「大量のワイセツ画像やワイセツ器具を送り付けたこと」が罪に問われなかったこと、また会社が重大なワイセツ・セクハラ事件を「安全配慮義務」上の問題として対処しなかったことなどを問題点として説明しました。また席上、原告は「これまでの恐怖」と「悔しい思い」を生の声で訴えました。

伊東弘子副委員長（文京区労協副議長）が最後に日本国内における「法律の不備」が世界的基準に届いていないところが多いことを指摘、当面法律で足りない部分は運動で動かしていこうと呼び掛けました。

その後参加各社よりの質疑応答に移りました。共同通信や読売新聞をはじめ6社の報道機関の参加をいただきました。マスコミの影響力で、日本のあらゆるハラスメント事件の解決が世界的基準に近づくよう期待します。

（文京 伊東弘子）

「東京ディズニーリゾート・コーポレートプログラム利用券」について

組合員の福利厚生活動の一つとして、「東京ディズニーリゾート・コーポレートプログラム利用券」を活用し、組合員と家族の福利厚生に役立てる活動をしています。年度が替わりましたので改めて「利用券」について案内します。

割引内容と利用方法は次の通りです。

【利用券（1000円の補助券）の利用方法】

組合員は、ディズニーランド、ディズニーシーのパークチケット購入の際に、「利用券」を利用者一人につき1枚（1000円の補助）を利用できます。

組合員は、利用人数分の枚数を支部に申し込みます。

利用券は、申込枚数分をCU東京本部より組合員本人の住所に郵送します。

利用券は、年間5枚（人数、回数の合計）を上限とします。

☆利用券には、組合員の氏名を記載します。

【利用期間】

2022年4月1日～2023年3月31日



※問い合わせは、CU東京本部（☎03-3946-9277）まで。

第93回メーデーに行こう

二年ぶりの代々木公園でのリアル集会です。

CU東京本部は東京地評の旗のもとに集合しています。

三多摩は井の頭公園です。

三多摩協議会は、CU東京の旗のもとに集合です。



「改憲発議許さない！守ろう平和といのちとくらし2022 憲法大集会」



来る5月3日（火・祝）、有明防災公園において、5・3憲法集会が開催されます。主催者は6万人規模を目指して参加をよびかけております。

改憲勢力が、ロシアによるウクライナ軍事侵略を格好の材料に改憲を推し進めようとしているなか、重要な政治日程である7月参院選までに、改憲阻止・9条守れとの圧倒的世論を作らなければなりません。成功にむけて参加しましょう。

■値上げが後を絶ちません。年明けから続き、あらゆる分野に及んでいます。今年のお物価の値上げは、3%から数%と指摘する人もいます。生活に大きくのしかかってきます。大幅な賃金の引き上げはますます重要です。大きな闘いが必要です。■ユニオンちよだの奮闘で、代田総行動にCUの組合員の「不当解雇」事件を加えていただき、その社前行動に参加しました。総勢40人。会社は不当にも事務所を逃げ出す始末。労働契約を踏みにじり、労働者の権利を二重、三重に無視しています。次々にマイク握り糾弾しました。■春の拡大は本番を迎えます。3/27春の学習・交流集会是全支部から49人が参加、当日、中野支部は加入書を1枚持参、励まされました。今、各支部で組合員に呼びかけ、計画の話し合いが進められています。目標は112人です。全支部でやり抜きましょう。